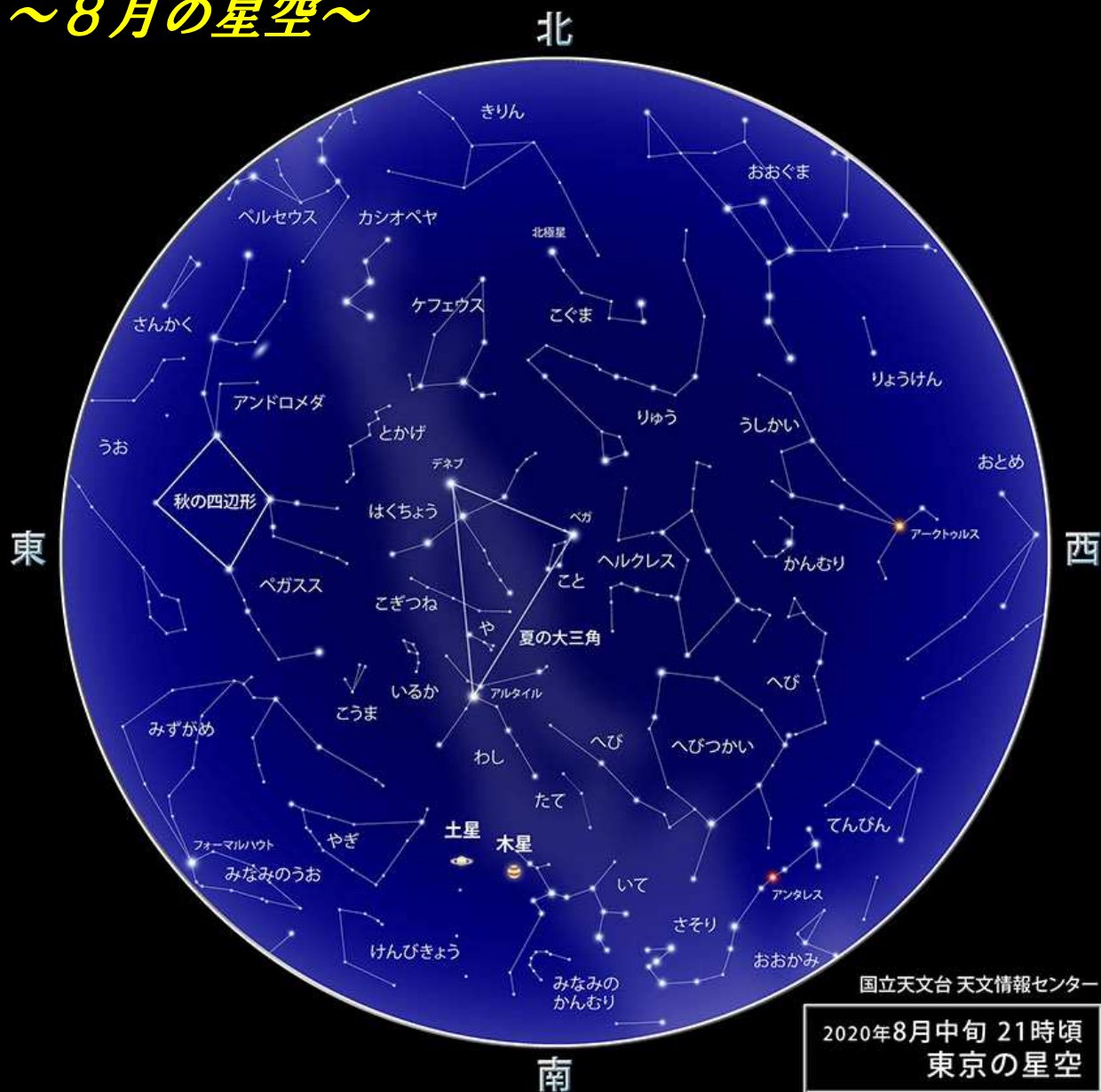


～8月の星空～



© 国立天文台

～注目の星たち～

- ・ 4日……満月 ※25日…伝統的七夕
- ・ 12日……ペルセウス座流星群が極大 (1時間に30～50個)

☆今月のおはなし☆

みなさんこんにちは！

今月は中秋の名月やペルセウス座流星群が見えたりと、夜空に関することがいっぱいですね(^o^)

今月は流星について解説していきます。

まず、彗星と流星（流れ星）の違いですが、彗星の本体は「汚れた雪の玉」と表現されます。主な成分は水（氷）・二酸化炭素・一酸化炭素・埃やチリなどでできていて、その天体が太陽に近づいた時に太陽熱で昇華し「コマ」と呼ばれる大気を出します。それが光で反射し彗星として肉眼で観察できます。（チリをまき散らしていますが、空を掃除しているように見えることから「ほうき星」とも言われています）

次に流星（流れ星）は、なんと大きさは数ミリ程しかない埃やチリが大気圏に突入し発光したもののなのです☺

7月は天候が悪くあまり見る事ができませんでした……。

ですが8月は梅雨も明け天の川や流星群・土星・木星などが見れますので、星を楽しみましょう(*´▽`*)

